

第627回: 新型検査奇譚

世界各国が新型コロナウイルス感染症(COVID-19)の撲滅に懸命になっている中、中国本土で惹起したるコロナ検査事件。どこかの映画監督が、「悲劇と喜劇は常に抱き合わせ」と喝破したように、ニュース報道はヘッドラインの打ち方によって印象が随分変わるものだと、笑いをこらえながら思った。

報道によると最近中国では COVID-19 に関する新しい検査方法が開発され、一部で導入実験が始まったようだ。しかし、ここでちょっとしたトラブルが発生した。

トラブルに関し、最も冷静かつ正確なヘッドラインを打ったのが米フォーブス誌。

◆ 中国が「肛門でコロナ検査」開始、春節前の封じ込めに奮闘(1月28日 フォーブス・ジャパン)

これに対して、突然検査を通告され、酷い目に遭った韓国人を気遣う韓国メディアは、その怒りを抑えつつ、精一杯の皮肉を込めて、こう報道している。

◆ 中国北京、鼻の代わりに肛門でコロナ検査...外国人も対象「侮辱的」(2月1日 中央日報日本語版)

一方、日本の報道は極めてベタだ。でもベタであるがゆえに、中国本土でどんな事件が発生し、誰がフン激しているのかが一目瞭然だ

◆ 中国で新型コロナ「肛門検査」、激怒した韓国人が大使館に訴えてふん便検査に変更—台湾メディア(2月1日 レコードチャイナ)

COVID-19 閉じ込めに懸命となっている中国医学当局は、肛門に綿棒を差し込んでサンプルを採取するという画期的ウイルス検査方法を発明し、これから本格導入すべく一部地域で実験が始まったようだ。

問題は外国人も対象に含め、いきなり実施したことだ。地元の報道によるとCOVID-19ウイルスの遺伝子を確認するために、“PCR 手法”を用いることに変わりはないのだが、現行の咽頭などからのサンプル採取だと、感染しても無症状或は軽症の場合にはウイルスが検出できなくなる可能性がある。

そこで、このデメリットを解消するために編み出されたのが肛門検査のようだ。糞便または肛門部分からサンプルを採取した場合だとウイルス遺伝子が相対的に長期間存在することから、「陽性」と判断する際の「漏れ」が少なくなるのだと云う。

もしそれが事実であれば、大変結構なことなのだが、半島から北京の空港に到着し、指定ホテルに隔離された後、強制的に肛門検査実施の通知を受けた被害者にとってはたまったものではない。

その韓国人によると、ホテルに肛門検査専門要員が現れ「全員、ズボンとパンツをおろすように」と指示され、「露出させた尻を高く掲げる四つん這いの姿勢にさせられ、綿棒の先端部分を生理食塩水に浸してから肛門の周囲を拭い、さらに綿棒を肛門部分から2-3センチ挿入して回転させる(現地報道)」なんてことをやられたらしい。

初対面でこれはないだろう。台湾メディアが「韓国人だけでなく、中国人の間でも“侮辱的だ”と、強い反発が発生している(自由時報)」と報じているのは当然だ。

そうでなくても韓国人と中国人との間には曰く云い難い歴史的因縁もあり、韓国人に云わせれば、「お前のところの不注意から世界中にバラまかれたウイルスの検査で、なんでオレが尻を露出しなきゃいけない

最終ページに重要なお知らせ「注意事項」がありますので必ずお読みください。

んだ、アイゴー！」と泣きたくも、怒鳴りたくもなる気持ちは、わからないでもない。

ことほどさように「悲劇と喜劇は常に抱き合わせ」が世の中の真実のようだが、フォーブスの見出しからは、中国の切羽詰まった状況が窺える。

新年を旧暦で祝う習慣の中国で、今年の春節(旧正月)の元旦は2月12日だ。資本市場もこれから長い休みに突入し、中国本土市場(上海と深圳)は大晦日を含め2月11日(木)から17日(水)まで休場だ。

正確に云えば、中国本土の7日(日)と20日(土)は振替出勤日となるのだが、中国人の多くは21日(日)までの実質11連休を楽しみにしている。

今年の中国はCOVID-19に伴う旅行自粛や一部の地域のロックダウンなど、“民族大移動”にブレーキを掛ける動きも一部あるようだが、出稼ぎ労働者などの帰省はこれから本格化する。

中国では1月28日からの40日間で延べ17億人が移動するとみられ、中国政府はCOVID-19感染拡大を防ぐため、農村部等への帰省前にはPCR検査を義務づけるなど対策を強化しているが、大型連休を前に各地では既に帰省が本格化しており、上海や広州など大都市の鉄道駅では、巨大な里帰りの荷物と共に、PCR検査の陰性証明書などを用意して帰省する人たちが多数見られている。

加えて1~2月は中国の政治の季節だ。3月上旬から首都北京で始まる全国両会(全国人民代表大会と全国人民政治協商会議)に代表者を送り込むために、各地方において重要会議“地方版両会”を開催する必要があり、要人たちの動きが活発化する。昨年湖北省では省都・武漢で開かれる会議を優先させたために、COVID-19の域内閉じ込めに失敗したと云われている。

1~2月には全国各地から地方の省都に代議員が集結し、その中から選ばれた代表者が3月初旬に北京の両会に出席する。これら一連の人の流れはCOVID-19対策上注意が必要だ。

肛門検査を巡るトラブルが証明するように、中国現地のCOVID-19状況は対外報道よりも深刻のようだ。だからこそ突然の肛門検査に接した韓国人たちが怒りまくっても、中国側に妥協の余地はなく「上部検査(咽頭)不可、下部検査(肛門)必須」となるのだ。しがらく中国には出張しない方が賢明かな。

ゆとり世代の直木賞作家・朝井リョウ氏の爆笑エッセイ「風と共にゆとりぬ(文春文庫)」に収められている「肛門記」を読んだ直後に接した一寸尾籠な国際報道でした。(了)

文中の見解は全て筆者の個人的意見である。

2021年(令和3年)2月4日

筆者プロフィール

杉野光男

東洋証券株式会社 主席エコノミスト

一橋大学商学部卒、三菱信託銀行(現三菱UFJ信託銀行)入社、上海華東師範大学へ留学

同行北京駐在員、上海駐在員事務所長、理事中国担当部長を経て、2007年より現職

著書 日本の常識は中国の非常識(時事通信社)、中国ビジネス笑劇場(光文社)等

最終ページに重要なお知らせ「注意事項」がありますので必ずお読みください。

2/3



東洋証券株式会社 金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第121号

日本証券業協会、一般社団法人第二種金融商品取引業協会 加入
本社所在地 〒104-8678 東京都中央区八丁堀 4-7-1 TEL03-5117-1040

ご投資にあたっての注意事項

外国証券等について

・外国証券等は、日本国内の取引所に上場されている銘柄や日本国内で募集または売出しがあった銘柄等の場合を除き、日本国の金融商品取引法に基づく企業内容等の開示が行われておりません。

手数料等およびリスクについて

①国内株式等の手数料等およびリスクについて

・国内株式等の売買取引には、約定代金に対して最大 1.2650% (税込み) の手数料をいただきます。約定代金の 1.2650% (税込み) に相当する額が 3,300 円 (税込み) に満たない場合は 3,300 円 (税込み)、売却約定代金が 3,300 円未満の場合は別途、当社が定めた方法により算出した金額をお支払いいただきます。国内株式等を募集、売出し等により取得いただく場合には、購入対価のみをお支払いいただきます。国内株式等は、株価の変動により、元本の損失が生じるおそれがあります。

②外国株式等の手数料等およびリスクについて

・委託取引については、売買金額 (現地における約定代金) に現地委託手数料と税金等を買いの場合には加え、売りの場合には差し引いた額) に対して最大 1.1000% (税込み) の国内取次ぎ手数料をいただきます。外国の金融商品市場等における現地手数料や税金等は、その時々々の市場状況、現地情勢等に応じて決定されますので、本書面上その金額等をあらかじめ記載することはできません。

・国内店頭取引については、お客さまに提示する売り・買い店頭取引価格は、直近の外国金融商品市場等における取引価格等を基準に合理的かつ適正な方法で基準価格を算出し、基準価格と売り・買い店頭取引価格との差がそれぞれ原則として 2.50% となるように設定したものです。

・外国株式等は、株価の変動および為替相場の変動等により、元本の損失が生じるおそれがあります。

③債券の手数料等およびリスクについて

・非上場債券を募集・売出し等により取得いただく場合は、購入対価のみをお支払いいただきます。債券は、金利水準の変動等により価格が上下し、元本の損失を生じるおそれがあります。外国債券は、金利水準の変動等により価格が上下するほか、カントリーリスクおよび為替相場の変動等により元本の損失が生じるおそれがあります。また、倒産等、発行会社の財務状態の悪化により元本の損失を生じるおそれがあります。

④投資信託の手数料等およびリスクについて

・投資信託のお取引にあたっては、申込 (一部の投資信託は換金) 手数料をいただきます。投資信託の保有期間中に間接的に信託報酬をご負担いただきます。また、換金時に信託財産留保金を直接ご負担いただく場合があります。投資信託は、個別の投資信託ごとに、ご負担いただく手数料等の費用やリスクの内容や性質が異なるため、本書面上その金額等をあらかじめ記載することはできません。

・投資信託は、主に国内外の株式や公社債等の値動きのある証券を投資対象とするため、当該金融商品市場における取引価格の変動や為替の変動等により基準価額が変動し、元本の損失が生じるおそれがあります。

⑤株価指数先物・株価指数オプション取引の手数料等およびリスクについて

・株価指数先物取引には、約定代金に対し最大 0.0880% (税込み) の手数料をいただきます。また、所定の委託証拠金が必要となります。

・株価指数オプション取引には、約定代金、または権利行使で発生する金額に対し最大 4.400% (税込み) の手数料をいただきます。約定代金の 4.400% (税込み) に相当する額が 2,750 円 (税込み) に満たない場合は 2,750 円 (税込み) の手数料をいただきます。また、所定の委託証拠金が必要となります。

・株価指数先物・株価指数オプション取引は、対象とする株価指数の変動により、委託証拠金の額を上回る損失が生じるおそれがあります。

ご投資にあたっての留意点

取引や商品ごとに手数料等およびリスクが異なりますので、当該商品等の契約締結前交付書面、上場有価証券等書面、目論見書、等をご覧ください。

最終ページに重要なお知らせ「注意事項」がありますので必ずお読みください。